



第38回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」
in 愛媛県松山市



Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 6日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 6日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

● 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

フードロス問題や地方創生に興味関心のある学生が日本全国の地域・農家へインターンとして訪れ、作物の収穫支援や現地での交流を通して一次産業や地域経済の活性化について考える取り組みです。

参加学生の旅費・交通費や現地での滞在費、食費等は、地域経済の活性化と社会発展に寄与するために設立した「**クラダシ基金**」から支援しています。

クラダシチャレンジ実施の目的

活動中：収穫したものをKuradashiのサイト上で販売することで、新たな収益を生み出し、経済面で地方・農家を支えます。さらに、学生が現地を訪れることで町に活気をもたらし、地域の魅力をSNS等で発信することでさらなる発展のパワーに繋がります。

活動後：学生が自治体や農家の方1人1人の温かみに触れ、地方・農業の魅力を体感することで、将来のキャリア選択を通して地域に貢献しようという意識が芽生えます。

01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

地域経済の活性化と社会発展に寄与するために
設立された支援金制度「クラダシ基金」



地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・
食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられます。

クラダシ基金とは

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」上における支援先の1つです。

地域創生事業やフードバンク支援事業、教育事業、食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に活用しています。

クラチャレの運営費も、本基金から拠出されています。

▼参考URL

クラダシ基金について

: <https://www.kuradashi.jp/fund>

● 01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

【農家・自治体への効果】

①各農家・事業者支援・地域活性化

クラダシチャレンジを通して学生が各地域で作業体験や現地観光を行い、身をもって感じたその地域の魅力を全国に広めることで、各農家・事業者支援や地域活性化に貢献します。

②地域の関係人口増加に貢献、若者を呼び地域振興

都心の学生と地域の農家さん・事業者さんが共に汗を流し、熱く語り合うことができるのも魅力のひとつ。作業を通して、生産者の苦勞も含めて様々な学びを得て、農業そのものや、その地域に価値を見出す学生がたくさんいます。そしてSNSを通じてその魅力を発信することで、認知拡大や地域の関係人口の増加を図ります。

【学生へ学びの場を提供】

①かけがえのない原体験を

フードロスや地方創生に興味はあるけれど、何をしたいかわからない。そんな学生がクラチャレで一次産業に携わったり、現地の方と交流をすることで、今後自分に何ができるかを考えるきっかけにしていきたいと考えています。

②社会貢献活動の実績に

クラチャレに参加することで、フードロス削減や地方創生に大きく貢献することができます。この経験は、就職活動において、社会貢献活動をしてきた実績として話せるというメリットもあります。

③自然豊かな農場で休息を

参加した学生の多くから、働きながらリフレッシュできた、という声をいただきます。都会での生活に疲れてしまったという人も、自然豊かな八幡浜市での活動は、最高の癒しとなること間違いなし！

01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

第38回 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県松山市

- 活動内容：
 - ・ 不知火の箱詰め、伐採材のチップ化
 - ・ 地域おこし協力隊の方との交流
 - ・ 金融リテラシー情報講座
 - ・ 現地の方々との意見交換
 - ・ 市内観光
- 開催期間：2024年3月11日～3月16日
- 参加人数：4人
- 実施企業：株式会社クラダシ（クラダシ基金にて運営）

01. 社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」とは

【松山市とは？】



松山市は穏やかな瀬戸内海に面しており、気候は一年を通して暖かく、雨の少ない地域です。また、松山市は不知火などの農作物だけでなく、道後温泉など日本有数の温泉地としても有名です。

【松山市クラチャレ開催の背景】



2024年1月、松山市で生じるフードロスの削減や人手不足の解消・地域活性を目的に、クラダシ、松山市、愛媛銀行の3者にて「松山市におけるSDGsの推進に係る食品ロス削減及び特産品のPRに向けた連携協定」を締結致しました。
松山市での開催は今回初めてとなります！

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
- 02. 6日間のスケジュール**
03. 活動報告
04. 参加者の声
05. 事後報告会

02. 6日間のスケジュール

	3/11(月)	3/12(火)	3/13(水)	3/14(木)	3/15(金)	3/16(土)
7:00	移動		朝食	朝食	朝食	朝食
8:00			不知火 不知火 の箱詰め	不知火 不知火 の箱詰め	不知火の 箱詰め	道後温泉 観光
9:00		朝食				
10:00		松山観光				
11:00						
12:00	表敬訪問 出発式	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:00		島内観光	アロマ蒸留 体験	地域おこし協 力隊の方々 とパッション フルーツの苗 の植え替え	意見交換会 金融リテラ シー講座	移動
14:00	市内観光					
15:00						
16:00						
17:00						
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00						

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 6日間のスケジュール
- 03. 活動報告**
04. 参加者の声
05. 事後報告会

03. 活動報告：作業

中島では不知火の箱詰め、イノシシ狩り、アロマ蒸留体験、納経台のペンキ塗りなど数多くの体験をしました。その中で島活性化へのアイデアはあっても、人手が足りてない現状を感じ、それでも出来ることを少しずつ取り組みを進めている島全体の雰囲気を感じました。そこから、どのようにすればこの島に人を集めることができるのか考え、関係人口をキーワードに島の認知度をあげようという話し合いになりました。作業の中で、島の他の島にない魅力をいっぱい感じました。全世界にそれを伝え、関係人口を増やし、そこから一人でも島の一員が増えれば良いなと感じています。



03. 活動報告：意見交換会

町づくり推進課や農村振興課、中島役場、愛媛銀行の方々に、活動を通じて考えた施策案について意見を頂きました。

中島の広報施策や島の現状等に対し、それぞれの専門家からの意見で多角的に考えると一朝一夕にはいかないことを実感しました。

特に中島では①松山市の住民の認知度が低い

②みかんイノシシで売り出すなどアイデアはあるが人をどう動かすか

③”里島”として広報しているが認知度が上がりにくいことを知りました。

そこで、松山市から人を呼ぶこと・SNSを使った広報の強化に重点を置く必要があるという仮説を立てました。また、地域を盛り上げる人を、他地域から呼ぶことも重要だと考えます。



03. 活動報告：観光

松山市は、松山城を中心として道後温泉をはじめとしたたくさんの観光スポットが集まっており、これらは路面電車を使って回ることができます。

私たちが初日に松山城、最終日に道後温泉に行くことができ、観光のしやすさは非常に魅力的だと実感しました。

中島では、きれいで穏やかな海を見ながらサイクリングを楽しむことができ、リフレッシュするのに最高の場所だと感じました。

島で作った材料を使ったパン屋さんや中島産の柑橘から作ったアロマを販売するお店などたくさん中島を感じられるお店があるのもとても素敵でした。



Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 6日間のスケジュール
03. 活動報告
- 04. 参加者の声**
05. 事後報告会

04. 参加者の声①

松山市中島～里島～

私には3つ目の故郷が出来たように感じた。五感すべてを刺激してくれる美しい環境や、家族のように迎え入れてくれた松山、そして中島の方々、ただの観光とは訳が違う6日間の生活。全てが私にとって特別で、中島や松山に帰ってきたいと思う大切な要素となった。そして私は今中島や松山の魅力が全世界の多くの人に伝わってほしいと強く思う。そのためにどうすべきなのか、この問いを考えることは難しく堂々巡りの議論となっている。でも一緒に過ごしたグループメンバーと議論し、作り上げて行くのはとても楽しい。自分たちが一つずつ成長出来ている気がして嬉しい。

成長したとき、悩んだときには必ず、ただいまって戻れたらなって強く思う。関わってくださった皆さん、ありがとうございました！



【国際教養大学1年 笠原寛生】

04. 参加者の声②

中島で人の温かさを感じた6日間

3月11日～16日に松山市、中島を訪れた。柑橘農家の宇川さんと選別作業を行った。イノシシ駆除や規格外となったみかんをアロマやスムージーに活用する活動は島の人々が協力し合って実現したことだと分かった。課題解決のためのアクションには人と人の繋がりが大切だと実感した。

松山市では雨が少ないことを知り、気候的に温かいことから、人もおおらかで温くなるのではないかと感じた。それは全国から集まったメンバーとの各地の気候等会話で気づくことができた。

地域活性化については市役所の方や農家の方、地域おこし協力隊として東京から移住した方々など多くの方から自分の考えた案（島に農家民宿を作る）についての意見を聞き、難しさについて知ることができ、勉強になった。



【東京農業大学3年 吉田雅子】

04. 参加者の声③

現地に行ったからこそ気づけたこと

クラダシチャレンジに参加する前は、規格外のものや傷がついているものなど、出荷することができない商品が多く発生してしまっているのではないかと考えていました。しかし、実際に地元の方にお話を聞くとジュースやスムージー、アロマなどたくさんの活用方法があり、自分が想像していたよりも食品ロスは少なかったです。

一方で、実現できないアイデアがあったり、実現できても小規模のため負担が非常に大きくなってしまったりするという課題もあることを知りました。実際に作業に参加させて頂いたり、農家さんはじめたくさんの方から現場の声を聞けたりしたからこそ難しさを知ることができました。

これから地方創生について大学で学んでいくにあたって、フィールドワークに積極的に参加し、現場の声を聞くことを大切にしていきたいです。



【中京大学2年 寺本 絢音】

04. 参加者の声④

学びと充実の6日間

私は、このクラチャレに参加して、沢山のことを経験することが出来た。毎日初めての経験ばかりで、とても楽しくて濃い6日間だった。特に、私は食に興味があったので、農業体験を通して食の大切さを学んだり、改めて農業の大変さを感じて食に対する考えが深まった。それ以外にも、みかんがイノシシに被害を受けている現状は、実際にイノシシを目の当たりにしてすごく印象的だった。また、捨ててしまうみかんの皮から作るアロマは、みかんの島だからこそ出来る取り組みだと思ったし、皮を剥いたみかんは、スムージーにして提供して、ロスが出ないような取り組みがとても素敵だと思った。

約4日間を中島で過ごして、様々なことを経験して、幅広い視点から考えることの大切さを知った。毎日がとても刺激的で、活動を通して自分自身の成長を感じられたことが嬉しかった。



【甲南女子大学1年 内田茉依】

Agenda

01. クラダシチャレンジとは
02. 6日間のスケジュール
03. 活動報告
04. 参加者の声
- 05. 事後報告会**

05. 事後報告会

第36回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県八幡浜市
第37回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 島根県隠岐の島町
第38回社会貢献型インターンシップ「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県松山市
の3地域合同で、参加者による事後報告会を行いました。

■日時：2024年4月26日 14:00～16:00

■場所：クラダシオフィス・オンライン配信

■参加者：「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県八幡浜市 参加学生
「クラダシチャレンジ」 in 島根県隠岐の島町 参加学生
「クラダシチャレンジ」 in 愛媛県松山市 参加学生
八幡浜市の方々、隠岐の島町の方々、豊中市の方々、松山市の方々
愛媛銀行の方々
クラダシ社員

■目的： 参加学生が、現地の方との交流・収穫支援の活動を通して
見出した課題への解決策を提案する。

次のページからが
事後報告会で学生が発表したスライドです！

第38回クラダシチャレンジ

in 愛媛県松山市 事後報告会



メンバー紹介

東京農業大学
国際食料情報学部4年
吉田雅子



中京大学
経営学部3年
寺本絢音



国際教養大学
国際教養学科2年
笠原寛生



甲南女子大学
人間科学部2年
内田 茉依



Agenda



#1
7日間のスケジュール

#2
活動報告

#3
提案

#4
まとめ

#1. 7日間のスケジュール

● #1. 6日間のスケジュール

	3/11(月)	3/12(火)	3/13(水)	3/14(木)	3/15(金)	3/16(土)	
7:00	移動		朝食	朝食	朝食	朝食	
8:00							
9:00		朝食	不知火の箱詰め	不知火の箱詰め	不知火の箱詰め	道後温泉観光	
10:00		松山観光					
11:00							
12:00	表敬訪問 出発式	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	
13:00							
14:00	市内観光	島内観光	アロマ蒸留体験	地域おこし協力隊の方々とパッションフルーツの苗の植え替え 中島の方々との交流会	意見交換会 金融リテラシー講座	移動	
15:00							
16:00			納涼台のペンキ塗り				
17:00							
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食		
19:00							

#2. 活動報告

#2.活動報告:作業

中島では不知火の箱詰め、イノシシ狩り、アロマ蒸留体験、納経台のペンキ塗りなど数多くの体験をしました。その中で島活性化へのアイデアはあっても、人手が足りてない現状を感じ、それでも出来ることを少しずつと取り組みを進めている島全体の雰囲気を感じました。そこから、どのようにすればこの島に人を集めることができるのか考え、関係人口をキーワードに島の認知度をあげようという話し合いになりました。作業の中で、島の他の島にない魅力をいっぱい感じました。全世界にそれを伝え、関係人口を増やし、そこから一人でも島の一員が増えれば良いなと感じてます。



#2.活動報告:意見交換会

3月16日:意見交換会 at 松山市役所

町づくり推進課や農村振興課、中島役場、愛媛銀行の方々に、活動を通じて考えた施策案について意見を頂きました。

中島の広報施策や島の現状等に対し、それぞれの専門家からの意見で多角的に考えると一朝一夕にはいかないことを実感しました。

特に中島では①松山市の住民の認知度が低い

②みかんイノシシで売り出すなどアイデアはあるが人をどう動かすか

③”里島”として広報しているが認知度が上がりにくい

ことを知りました。

そこで、松山市から人を呼ぶこと・SNSを使った広報の強化に重点を置く事が必要だという仮説を立てました。

また、地域を盛り上げる人を、他地域から呼ぶことも重要だと考えます。



#2.活動報告:観光

松山市は、松山城を中心として道後温泉をはじめたくさんの観光スポットが集まっており、これらは路面電車を使って回ることができます。私たちも初日に松山城、最終日に道後温泉に行くことができ、観光のしやすさは非常に魅力的だと実感しました。

中島では、きれいで穏やかな海を見ながらサイクリングを楽しむことができ、リフレッシュするのに最高の場所だと感じました。島で作った材料を使ったパン屋さんや中島産の柑橘から作ったアロマを販売するお店などたくさん中島を感じられるお店があるのも素敵でした。



#3. 提案

中島の認知度が低いこと

中島の現状

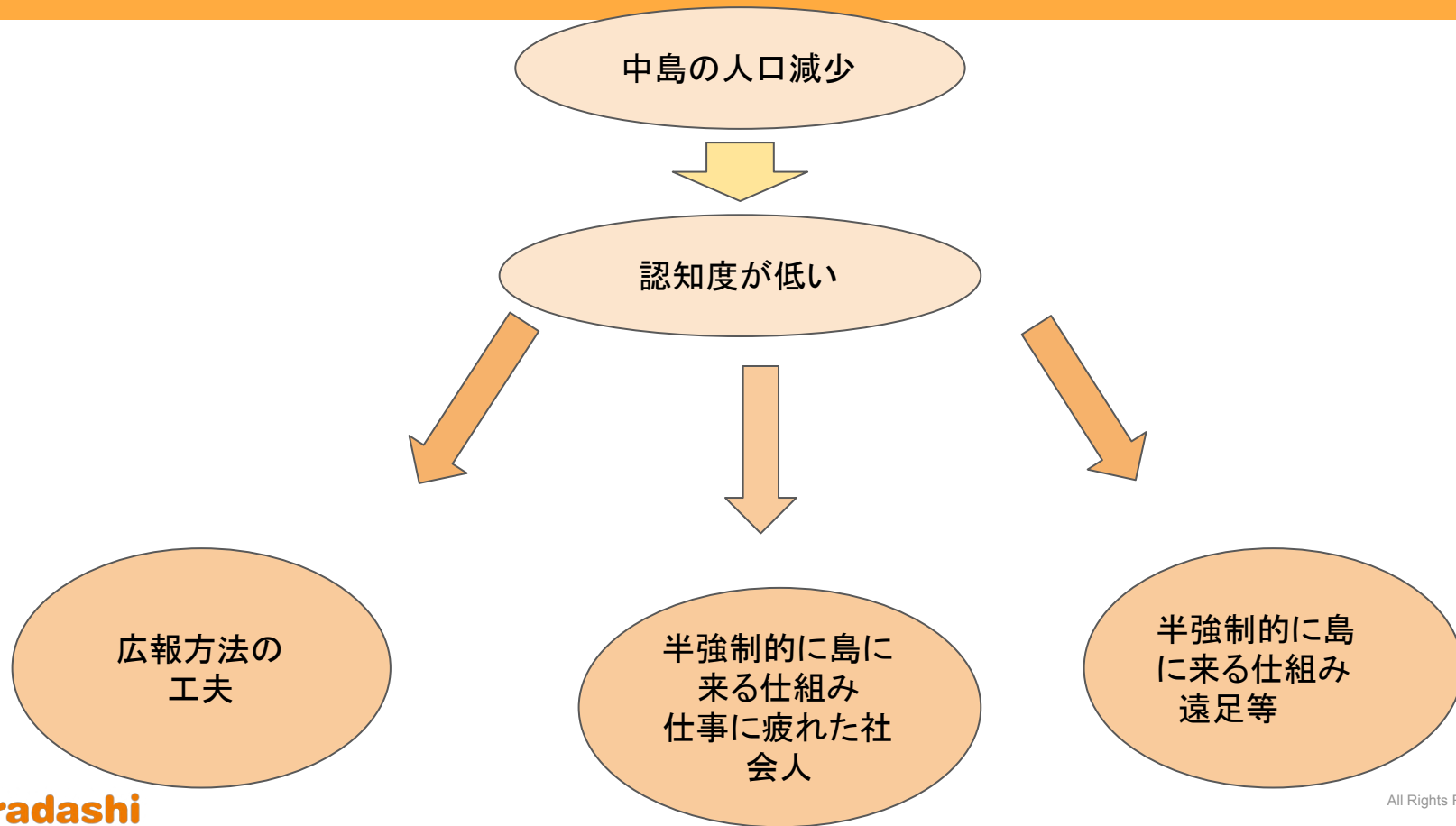
- ・観光客を呼び込む取り組みはやっている
- ・広報も行っている
- ・中島には来てよかったと思わせる環境がある
- ・島の人にはアイデア(みかんいのしし、みかん食べ比べ)があるけど、どう動いてよいかわからない(協力者の集め方とか)

なぜその課題を選んだのか？

行ってみて魅力を感じたが、行く前までメンバー全員が中島を認知していなかったから。

(知らないのはもったいないと思ったから。)

中島の魅力発信案 概要



中島の魅力発信立案



中島の魅力発信立案

島の半数以上がみかん農家
イノシシ駆除もミカン農家さんが協力し合っている



「みかんの島」をキーワードに、他の離島と差別化した広報に



①SNSの活用②WEB活用(検索エンジン最適化)③企業への広報
を通じて中島を知る人を1人でも増やす

● 中島の魅力発信立案1”広報方法の工夫”



中島の魅力発信立案1”広報方法を工夫する”

今の中島広報パンフレット



- ・ゆるり旅などの一般的なワードでなく、中島を表す具体的な言葉(かんきつ離島生産量全国トップクラス)などをいれる
- ・島内アート



中島の魅力発信立案1

- ・みかんの島としてどう売り出すか??
- ・無人販売のミカンジュース飲み比べ
- ・みかん食べ放題
- ・みかんbar
- ・農家レストラン、カフェ
- ・目を引くみかんオブジェクト
- ・島内アートみかん
- ・みかん農家さんとの交流の機会

中島の魅力発信立案1 インスタグラム(SNS)の活用

①”みかんの島”であることを強調する

現在のアカウント



中島の魅力発信立案1 インスタグラム(SNS)の活用

②リール動画で中島の魅力を伝える

島内にある観光スポットを中心に紹介

ほしふるテラス



島とみかん
つなのアロマ蒸留所



しまのぱんかふえ
tetote



中島の魅力発信立案1”広報方法を工夫する”

自然にパンフレットを見てもらう仕組み

・手段

免許センター・市役所の待合場所・坊ちゃん電車
路面電車内

市内者向け
忽那諸島の
(パンフレット設置・広告動画設置)

市外者
(観光客や
松山圏域連携中枢都市圏の伊予
市民に向けて)

[松山圏域について 松山市公式ホームページ PCサイト
\(city.matsuyama.ehime.jp\)](http://city.matsuyama.ehime.jp)



平針運転免許試験場にディスプレイ広告を設置しました
(tokuworld.co.jp)

中島の魅力発信立案1”広報方法を工夫する”

想定費用

- ・チラシ配布
年間 10万8千円
- ・車内広告 1ヶ月 7万円

- ・松山市財政より
鹿島観光会計または
観光開発等産業活性化基金から



媒体概要

掲出期間 1 ヵ月 ~

販売単位 5ポケット以上

配布物規格 A4

サイズ 【ラックポケット】 約W215×D55×H270mm

【壁面ポケット】 約W220×D25×H305mm

掲出料金 (1ポケットあたり) 9,000円~ <税別>

メリット

パンフレット: 手に取り、記憶に残る
車内広告: 幅広い世代への中島の魅力を訴求
地方路線の車内広告設置により、検索数が7倍に増加

[トレインジャックとは？実際に広告を出して費用対効果を検証。 | ワードプレステーマTCD \(tcd-theme.com\)](#)

[旅行者の交通費を自治体等が負担すると、負担額の 4.14倍の直接経済効果が発生 | Fourwin株式会社のプレスリリース \(prtimes.jp\)](#)

target1 ストレスを抱えている社会人

[自殺の現状について - 愛媛県庁公式ホームページ \(pref.ehime.jp\)](http://pref.ehime.jp)

孤独死



日光不足



都会生活



中島にあるもの



気持ちの良い日光



離島という
非日常感

五感を刺激する
自然

話しやすいたくさんの人



ストレスを抱えた社会人

中島



どうにか繋げることはできないだろうか？



ネットでの検索に引っ掛かりやすくする(SEO対策)

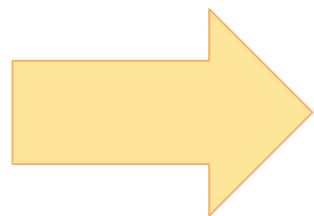
インターネットで「疲れた」「しんどい」などの検索ワードの一ページ目に「疲れた時はリフレッシュをしに中島へ！」という誘導ページをつける

会社に広報活動を行う

従業員の仕事や私生活への心構えがポジティブに向くことは会社にとってもplusなはず

ストレスを抱えた社会人をターゲットにする上で足りないもの

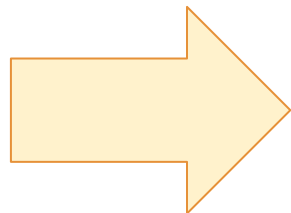
地域の人と島に訪れた人がハードル低く交流できる機会



相席食堂みたいなものがあれば、島内交流も来訪者との交流も進められる？



島の島内外と交流OKな人にはコーヒーを安く提供



交流がうまくできる仕組みづくり
島のぱんかふえ **tetote**



[世界初！？観光客と住民が会話する「交流」カフェ 鹿児島島のシンボル・桜島を盛り上げたい！玄関口に賑わいの場を！\(NPO法人桜島ミュージアム 2017/12/07 投稿\) - クラウドファンディング READYFOR](#)

target 2 修学旅行生・遠足(松山市の小中・高校生)

To 修学旅行生

第一次産業体験、食育に絡めたプランを考える。

現在も広島に修学旅行に来た学校を次の行き先地として、中島や愛媛県にする取り組みを進めている。



出発地: 関東、中部・東海エリア 3泊4日

モデルコース1(広島～松山～琴平～倉敷～関西)

行 程	宿泊地
出発地 ⇒ 広島/宮島 ⇒ 中島/松山市内/松山周辺 ⇒	広島/宮島
琴平 ⇒ 倉敷 ⇒ 神戸/大阪/京都/ ⇒ 出発地	松山
	神戸/大阪/京都

To 松山市の学生への遠足として

松山市の人の中島を訪れたことある人は少ない

→学生の遠足を使い、半強制的に訪れてもらう。

+

ミカン栽培、イノシシ狩りなどを利用して、
中島ならではの食育を行う。



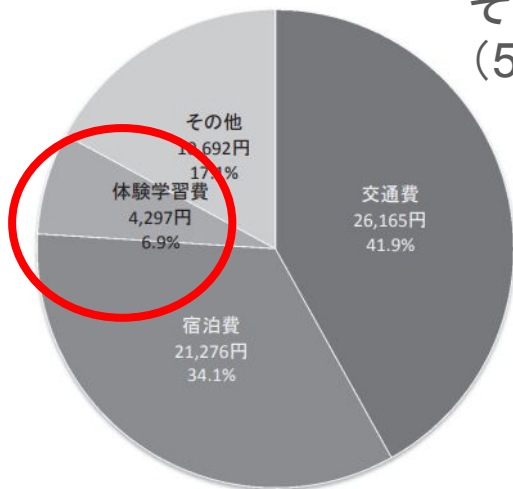
中島の魅力発信立案3

高浜港から約5kmの「北中学校」でミカン収穫体験・釣体験の遠足をしたと仮定

体験費用(3300円)×135名=44,5500円

そのうち消費税(10%)地域組織への手数料
(5~10%)を除く35,6400円が市に対する経済効果
と推測

図3 中学校の修学旅行における旅行費用と構成比



※教育旅行年報データブック2014を基に作成

民泊を核とした修学旅行誘致 ～南島原市農林漁業体験型民泊事業の事例から より引用 [56-62.pdf](#)
([ecpr.or.jp](#))



中学生の遠足、小学5年生の遠足費用に4, 5千円
(交通費除く)であり、実施可能と考える

[子供の学習費調査令和3年度 | ファイル | 統計データを探す | 政府統計の総合窓口 \(e-stat.go.jp\)](#)

鈴村(2009)『小中学生の体験教育旅行受け入れによる農村地域活性化』農林水産政策研究 第15号(2009):41-59
[生徒数・学級数 松山市公式ホームページ PCサイト \(city.matsuyama.ehime.jp\)](#)

[体験学習メニュー - おいでんか四国・松山 | 愛媛県松山市への修学教育旅行のご案内 \(oidenka-matsuyama.com\)](#)

#3.まとめ

＜中島が抱える課題＞

- ・認知度の低さ
- ・島内の人口減少・高齢化による人手不足
- ・家族経営で小規模なため、負担が大きい
- ・交通手段や宿泊施設などの面から、島・県外など遠方からのボランティア募集の難しさ

＜魅力発信案＞

- ①広報方法の工夫
(インスタグラムの投稿方法の工夫、パンフレットの設置位置)
- ②ターゲティング
(ストレスを抱える社会人、学生)

<期待できる効果>

○広報方法の工夫

- ・島内アートや柑橘など中島ならではの魅力を全面的に打ち出す
→他の離島との差別化ができ、旅行先として中島を選ぶ人が増加
- ・パンフレットの配布方法について、待ち時間が発生する場所に設置
→パンフレットを手にする人が増えることで認知度が上昇
- ・Instagramのリール動画を積極的に活用
→写真だけでは伝わらない中島の魅力が発信でき、好感度up

○ターゲティング

(ストレスを抱える社会人)

- ・新たなパンフレットの設置場所を会社に設ける、中島に関する誘導ページをつける
→中島の認知度の上昇

<期待できる効果>

○ターゲティング(学生)

- ・学生が柑橘の収穫や箱詰め、皮むきを体験
 - 人手不足の解消、負担の減少へ、学生がSDGsや食育について考えるきっかけに
- ・学生が実際に足を運ぶことで中島の魅力を体感し、中島での体験を家族などに共有
 - 関係人口の増加が期待できる
- ・学校の恒例行事に中島訪問を組み込むことで毎年一定数の関係人口を増やすことができる
- ・フェリーの時間や宿泊施設の定員、ボランティアに参加する人の経済的負担から大人数での宿泊、長期間の滞在は難しいため、日帰りで中島を訪れることができる松山市内の学生がキーポイントに！

● クラダシについて

社名	株式会社クラダシ
設立	2014年7月
所在地	東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F
代表者	代表取締役社長 関藤 竜也
事業内容	ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営
URL	https://www.kuradashi.jp/ (ショッピングサイト) https://corp.kuradashi.jp/ (会社HP)

株式会社クラダシは、松山市以外の自治体でも支援を引き続き行なってまいります。
ご質問・ご相談等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。